

## 令和5年度 県アレルギー疾患医療拠点病院事業計画

病院名	神奈川県立こども医療センター
所属名	アレルギーセンター
担当者氏名	センター長 犬尾千聡
連絡先(電話番号)	( 045 ) 711 - 2351

## 1. 病院相互の連携及び診療連携体制の構築について

令和5年度 事業内容等	(参考) 令和4年度事業 実施状況、実績見込等
<p>アレルギーセンター長による施設に対するヒアリングを継続する。地域連携についてシステム構築（外部施設によるカルテ閲覧システム）の説明を行い、より親密な地域医療連携構築に努める。特に、小児科単科以外の診療所への訪問に勤める。目標訪問数：30 施設</p> <p>オンライン研修の有用性を把握することが出来たため、Zoomの有料契約を継続し、アレルギー疾患の対応方法について、「こども医療センター 夏季セミナー」「神奈川県立こども医療センター地域医療支援事業研修会」を地域医療機関に対してオンラインで配信する。</p>	<p>アレルギーセンター長が地域の医療機関訪問を直接訪問し、アレルギー診療内容、患者数、対応などについてヒアリングを行い、一般診療における課題について調査を行っている。アレルギー科スタッフの産休、コロナウィルス感染の影響もあり、令和4年度の施設訪問数は、15 施設だった(資料1)。その中でも、小児科単科よりも、他科を主として標榜している診療所において、アレルギー対応に苦慮している現状が把握できた。</p> <p>医師向けの講演会は、9月4日に「アレルギー救急診療のポイント」というテーマを医師向けにzoomにて配信を行った。</p>

## 2. 患者やその家族、地域住民に対する適切な情報の提供

令和5年度 事業内容等	(参考) 令和4年度事業 実施状況、実績見込等
<p>神奈川県立こども医療センター主催の県民向けの講演会を主催する（オンライン配信予定）。</p> <p>ホームページについては、病院全体のホームページ改定に際して、厚生労働省の「アレルギーポータル」からの情報提供に努める。</p>	<p>病院ホームページを改定し、紹介受診からの患者が受ける治療について流れについて解説する説明を付記した。</p> <p>厚生労働省の「アレルギーポータル」へのリンクを作成し、より正確な知識普及に努めている。</p>

## 3. 医療従事者や保健師、栄養士、教職員等に対する研修等

令和5年度 事業内容等	(参考) 令和4年度事業 実施状況、実績見込等
<p>2023年度の医師、またはエドューケーターによる保健師、栄養士、教職員等に対する研修は10件を目標としている。</p>	<p>2022年度の研修件数は9件だった(資料2)。開催数はコロナ感染症発生前より減少している。オンラインでの開催も可能なことを関係各所への周知に努める(資料3)</p>

## 4. 県内のアレルギー疾患の実情を把握するための調査等

令和5年度 事業内容等	(参考) 令和4年度事業 実施状況、実績見込等
アレルギーがどのように乳幼児・その保護者の生活を障害している状況を健診の間診票を通じて把握する予定である。	実績なし

## 5. 学校等に対する医学的見地からの助言等

令和5年度 事業内容等	(参考) 令和4年度事業 実施状況、実績見込等
今年度は、一部自治体だけではなく、全体を管轄する県の教育委員会を通じて、統一した食物アレルギーの対応を図ることを検討し、令和4年度に策定した基本指針を元に対応を検討していく。	給食対応を含め、対応方針の基本的な指針を策定し、それにも基づいて対応している(資料4)。 1年ごとに血液検査結果を提出させているなどのガイドラインから逸脱している指導を行っている施設に助言を行った(4施設)。

## 6. その他の事業(任意記載)

令和5年度 事業内容等	(参考) 令和4年度事業 実施状況、実績見込等
令和3年度にアレルギー中心拠点病院が行っている研修「アレルギー研修(B研修)」によって、2週間習得した内容を地域医療機関にも共有するため、院外に向けて研修内容報告書を通知予定である。	令和3年度にアレルギー中心拠点病院が行っている研修「アレルギー研修(B研修)」に医師を1名が参加し、成育医療研究センターにて2週間の研修に参加した。 病院内で研修内容を共有し、患者診療に活かしている。

## 7. 県拠点病院としての取組について(年度ごとの取組にかかわらず記載してください。)

<p>&lt;ペットアレルギーに対する治療&gt;</p> <p>県内犬の登録頭数は平成13年度 339,266頭だったが、平成28年度には469,491頭と15年間で約1.4倍に増加している。当施設ではペットアレルギーに対して臨床研究としてイヌ・ネコアレルギー免疫療法を施行していた。その治療効果について現在集計検討し、ペットアレルギー対策を提示できることを目指している。</p> <p>&lt;アレルギー児に対する食事指導&gt;</p> <p>2018年4月より当院では、卵、牛乳アレルギー児、あるいは検査によりアレルギーが強く疑われる児に対して、卵そのものや牛乳そのものから少量ずつ摂取するのではなく、強い加熱処理が行われた食材(baked egg, baked milk)から摂取を進めていくEgg Ladder, Milk Ladderという食事指導を行っている(資料5)。導入5年となり、導入前後での患者の状態を把握し、この食事指導方法の長所・短所を検討している。</p>
---

# 医療機関訪問

<2022年5月24日(火曜日)>

こまたアレルギー科小児クリニック (神奈川県藤沢市藤沢)  
善利クリニック (神奈川県横浜市港南区野庭町)

<2022年5月27日(金曜日)>

藤沢市民病院 (神奈川県藤沢市藤沢)  
ふじさわこどもクリニック (神奈川県藤沢市藤沢)

<2022年5月31日(火曜日)>

釜菴内科小児科医院 (神奈川県藤沢市藤沢)  
あべともこどもクリニック (神奈川県藤沢市湘南台)

<2022年6月17日(金曜日)>

西戸部こどもクリニック (神奈川県横浜市西区西戸部町)  
みなとみらい小児科クリニック (神奈川県横浜市西区みなとみらい)

<2022年6月24日(金曜日)>

冠木小児科 (神奈川県横浜市保土ヶ谷区狩場町)  
MM わんぱくこどもクリニック (神奈川県横浜市西区みなとみらい)

<2022年6月28日(火曜日)>

ゆめはまクリニック (神奈川県横浜市戸塚区舞岡町)

<2022年7月5日(火曜日)>

戸塚共立おとキッズクリニック (神奈川県横浜市戸塚区戸塚町)

<2022年7月12日(火曜日)>

ゆきこどもクリニック (神奈川県横須賀市安浦町)

<2022年7月15日(金曜日)>

くどう小児科クリニック (神奈川県横須賀市久里浜)

<2022年12月15日(木曜日)>

たいよう皮ふ科クリニック (神奈川県横浜市戸塚区戸塚町)

令和4年度 地域への講師派遣

表 令和4年度 地域への講師派遣状況

日時	依頼元(会場)	テーマ・内容	対象	講師
6月14日(火) 14:30-16:30	三浦市立旭小学校 体育館	講演:「食物等アレルギーの基礎知識とエピペンの使用方法」 実習:エピペンの使用方法	小学校・中学校・高等学校教諭、栄養教諭、養護教諭等、三浦市関係職員、保健福祉課関係職員	アレルギー科 犬尾 千聡医師
8月25日(木) 15:00-17:00	茅ヶ崎市勤労市民会館	講演:「食物等アレルギーの基礎知識とエピペンの使用方法」 実習:エピペンの使用方法	小学校、中学校の管理職(校長、教頭)教諭、養護教諭、栄養教諭、栄養士、調理員	アレルギー科 犬尾 千聡医師
8月23日(火) 14:00-16:00	神奈川県・健康増進課	講演:「食物アレルギーの知識と緊急時のエピペン対応」 Zoomによるオンライン開催	学校、幼稚園、保育所、放課後児童施設等の職員 保健福祉事務所、児童福祉施設、市町村、消防署等の職員	アレルギー科 犬尾 千聡医師
9月2日(金) 14:00-16:00	神奈川県・健康増進課	講演:「食物アレルギーの知識と緊急時のエピペン対応」 Zoomによるオンライン開催	学校、幼稚園、保育所、放課後児童施設等の職員 保健福祉事務所、児童福祉施設、市町村、消防署等の職員	アレルギー科 犬尾 千聡医師
10月10日(月) 14:00-16:00	横浜市役所	講演:「アレルギーってなんだろう 食物アレルギーを中心に」	一般市民	アレルギー科 高増 哲也医師
10月13日(木) 14:00~16:00	横浜市こども青少年局三春学園	専門職のためのアレルギーの最新知識と緊急時対応	施設職員	アレルギー科 高増 哲也医師
10月14日(金) ~10月27日(木)	神奈川県立保健福祉大学	講演:「アレルギー総論、気管支喘息」「アトピー性皮膚炎、食物アレルギー」 オンデマンドオンライン開催	保健・医療・福祉関係従事者(主に乳幼児を支援する現任者)	アレルギー科 松本由里香医師 藤田 真弓医師 高増 哲也医師
10月28日(金) 13:15~14:45	神奈川県立保健福祉大学	講演:「アレルギーの最新知識」 Zoomによるオンライン開催	保健・医療・福祉関係従事者(主に乳幼児を支援する現任者)	アレルギー科 高増 哲也医師
12月3日(土) 13:15~14:45	神奈川県立保健福祉大学	講演:「アレルギーの最新知識」	保健・医療・福祉関係従事者(主に乳幼児を支援する現任者)	アレルギー科 高増 哲也医師

Zoomによるオンライン配信

# アレルギーセミナー

食物アレルギー・アトピー性皮膚炎・気管支喘息

神奈川県立子ども医療センター(神奈川県アレルギー疾患医療拠点病院)

---



小さなお子さんがある保護者の中には、子どものアレルギーについて不安を抱えている方もおられます。しかし、子連れではセミナーには足が運びづらいという声をよく耳にします。また、現在の社会情勢では、人が集まってのセミナーは企画しづらい状況です。

神奈川県立子ども医療センター アレルギーセンターでは、自宅から参加できるZoomを使ったオンラインセミナーを実施できる体制を整えました。

## 開催までの流れ（100人まで参加可能）

企画者はネットや健診などで参加者を募り、参加希望者に当アレルギーセンターが設定したurlとパスワードを連絡しておきます。参加者は開催時刻にurlをクリックすれば自宅からスマホ・タブレットなどを使ってセミナーに参加することが出来ます。

## 講演依頼（企画内容の相談も含む）

神奈川県立子ども医療センター 母子保健推進室

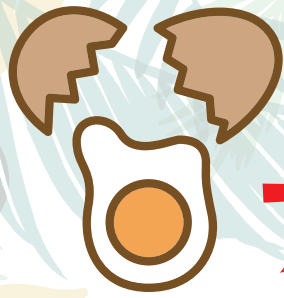
担当：野口 [noguchi.20011@kanagawa-pho.jp](mailto:noguchi.20011@kanagawa-pho.jp) 045-711-2351(内線5373)

---

# 食物アレルギー 集団生活での原則

- こどもに対する、責任者・最終決定者は、保護者である
- 除去すべき食物の種類を決める主体は、保護者
- 教育関係者、医師はサポーター、アドバイスをする立場
- 医師は生活管理指導票を作成する
- 学校、幼稚園、保育園はこどもの食を含む生活環境を提案
- 診断の手段(病歴の問診、血液検査、皮膚検査、負荷試験)は医師が判断する





# 5つのステップで アレルギーと仲良くなろう



## STEP 5

- (1) バニラアイス
- (2) 半熟～生卵



- (3) ゆで卵



## STEP 3

卵を主とした料理



- (1) プリン



- (2) 卵焼き



- (5) マヨネーズ



- (4) ケーキ

## STEP 3

卵をつなぎで  
使用した製品



- (1) ハンバーグ



- (3) 天ぷら



- (2) 唐揚げ

## STEP 1

Baked Egg として  
スティックパン  
少量から増量



## STEP 2

卵の含有量の  
少ない製品



- (1) クッキー

- (2) ハム

- (3) ベーコン

- (4) 中華麺



- (5) 練り物



症状が出ない範囲で  
無理せず継続して  
チャレンジしてね

少しずつ  
食べられるように  
なってきたよ!

### ⚠ 注意書き

- ・ Step 1 から開始し Step 4-5 を目指しましょう
- ・ 少量から始めできるだけ毎日摂取し問題なければ、1 週間毎に約 20% ずつ徐々に増量しましょう
- ・ 指示された Step の中で少ない数字の食材からいろいろと摂取していきましょう
- ・ Step を上げるときは医師に相談してからにしましょう
- ・ Step を飛ばすことはしないでください
- ・ ステップアップした際にアレルギー症状が出た場合はステップを戻り、以前食べられていた食品の摂取を継続しましょう
- ・ 無理せずに症状が出ない範囲でいやな気持なく続けることが大事です



# 5つのステップでアレルギーと仲良くなろう



## STEP 5

乳そのもの



(1) ショートケーキ



(2) 牛乳



(3) グラタン



(4) ピザ



(2) プリン



(3) クリームシチュー



(3) アイス



(1) 卵ボーロ

## STEP 4

乳含有の多い料理・製品



(1) ヨーグルト



(4) 乳酸飲料



(3) チョコレート



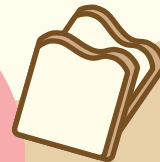
(2) ハム

## STEP 3

乳含有中等量の料理・製品



(1) バター



(2) 食パン



(3) クッキー

## STEP 1

Baked Milk として  
スティックパン  
少量から増量



症状が出ない範囲で無理せず継続してチャレンジしてね

## STEP 2

乳含有少量

少しずつ食べられるようになってきたよ!

### ⚠ 注意書き

- ・ Step 1 から開始し Step 4-5 を目指しましょう
- ・ 少量から始めできるだけ毎日摂取し問題なければ、1 週間毎に約 20% ずつ徐々に増量しましょう
- ・ 指示された Step の中で少ない数字の食材からいろいろと摂取していきましょう
- ・ Step を上げるときは医師に相談してからにしましょう
- ・ Step を飛ばすことはしないでください
- ・ ステップアップした際にアレルギー症状が出た場合はステップを戻り、以前食べられていた食品の摂取を継続しましょう
- ・ 無理せずに症状が出ない範囲でいやな気持なく続けることが大切です